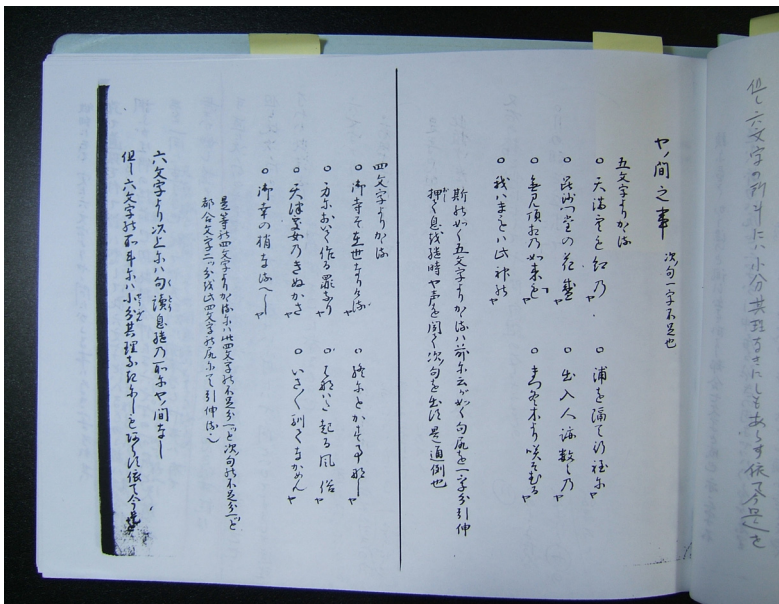
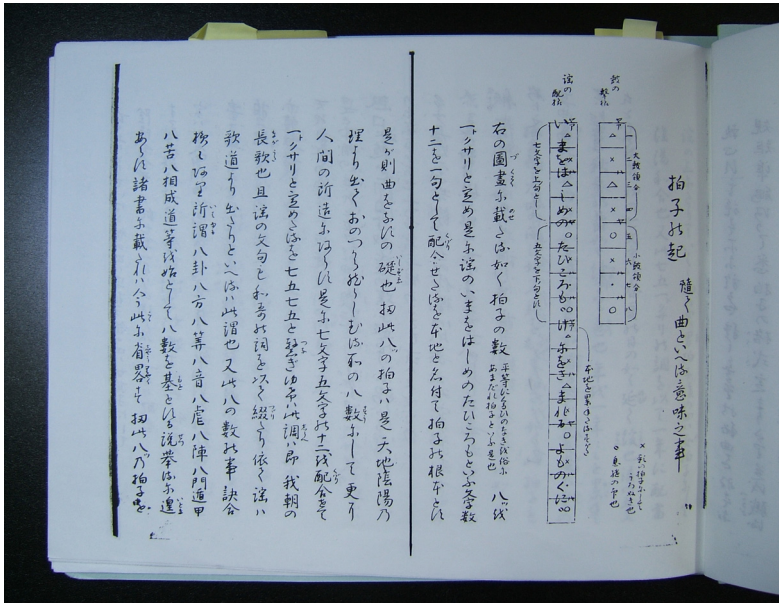


梅若満寿 『洋々集』

写真上は、上巻「拍子の起 随て曲といへる意味之事」と題された一節。図は、右側に「鼓の撃様」、左側に「謡の配様」を記す。写真下は間の説明箇所。「ヤノ間」をまず「次ノ句一字不足也」と説明する。しかし、実例には、間の直前の句のみを記して、肝心の「次の句」を示さない。また、間の直前の下の句の文字数（5文字）「4文字」等）によって分類する示し方は、独自のユニークな工夫である点で、興味深い。



標題 内題：洋々集

標題紙：—

奥附：—

その他：洋々集（序・題簽）

著者 奥附：—

その他の場所：古梅軒圓齋満寿（跋）、建

部満寿（序）橘満寿（卷之上巻

頭

出版 版次：—

出版地：—

出版社：—

出版年：—

その他の場所：—

形態 冊数：三冊 頁数：—

寸法：—

状態 写本版本の別：写本 現物複写の別：複写

備考 早稲田大学演劇博物館所蔵。安政三（一

八五六）・文久元（二八六二）年（跋）。